

2018年12月7日

会員各位

日本ファイナンス学会  
「研究観望会」幹事 西出 勝正

## 第26回研究観望会開催のお知らせ

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、日本ファイナンス学会第26回研究観望会を下記の要領により開催することといたしました。今回は「**株式会社バブルの発生メカニズムとその識別**」をテーマに、要旨のとおり、たいへん興味深い報告がなされる予定ですので、ふるってご参加たまわりますようお願い申し上げます。なお、参加者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

また、研究観望会では、別紙要領のとおり、報告者を募集しております。自薦他薦ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。とりいそぎ、ご案内する次第です。

敬 具

### 記

テーマ：「**株式会社バブルの発生メカニズムとその識別**」

報告者：鈴木 雅貴氏（横浜国立大学）

日 時：2019年1月22日（火）18:30より

会 場：一橋大学一橋講堂2F 中会議室（下図参照）

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2F（〒101-0003）

東京メトロ「神保町」徒歩3分、「竹橋」徒歩4分



研究観望会のお問合せ先：

幹事 西出 勝正

（一橋大学大学院経済学研究科教授）

E-mail：k.nishide@r.hit-u.ac.jp

申込先：日本ファイナンス学会事務局

（永井・小林(奈)）

東京都新宿区南元町19（〒160-8519）

Tel : 03(3354)2377

Fax : 03(3359)7947

E-mail：honbu@nfa-net.jp

URL : http://www.nfa-net.jp

以上

日本ファイナンス学会  
第 26 回研究観望会

「株式バブルの発生メカニズムとその識別」

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院  
鈴木 雅貴

報告の概要：

当観望会では、株式バブルに関するファイナンス研究の最新動向を展望する。株式バブルは实体经济に多大な影響を及ぼしうるが、そのメカニズムについていまだ解明されていない部分が多い。この一因として、株式バブルを定量分析の俎上に載せるためにはまず株式の基礎的価値(ファンダメンタルズ)を算出する必要があるが、ファンダメンタルズを構成する投資家の期待配当成長率や株式リスクプレミアムの推定が一般的に難しいことが挙げられる。そこで、当観望会ではまずファイナンス研究において長年用いられてきた株式ファンダメンタルズの推定手法について整理し、その問題点を議論する。一方、株式関連デリバティブ価格から算出される期待配当成長率や、近年登場した株式配当先物(先渡し)価格には、将来の株価やマクロ経済に関する情報が多く含まれていることが最新の研究によって明らかにされている。そこで、当観望会では株式配当先物価格を用いた株式ファンダメンタルズの推定手法を紹介する。株式配当先物価格には、長期間の配当に関する投資家の(リスク調整済み)期待が瞬時に反映されるため、これを上手く活用することによって、従来手法よりも即時性が高く頑健な株式ファンダメンタルズの推定値を得ることが可能となる。また、当該手法を用いた株式バブル変数の時系列分析により、株式バブルの生成・崩壊メカニズムに関する定量的な考察を行う。

## 日本ファイナンス学会「研究観望会」

### 報告者募集要領

研究観望会運営委員会

代表幹事 西出 勝正

研究観望会は、世界のファイナンス研究の最新動向をテーマ別に展望するもので、各トピックに関する最新の成果をサーベイした報告を通じて、会員各位の知識・情報の整理に役立てるとともに、会員の研究活動の促進に寄与することを目的としたものです。この目的にそった報告者を下記要領にて募集いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願い申し上げます。なお、報告内容については、幅広く、理論、方法論、実証研究、制度の現状と展望等々にいたるまで歓迎いたします。

とりわけ、若手研究者を歓迎し、研究奨励的な運営を企図しております。必要に応じた交通費、宿泊費を支給するとともに、報告に対する研究奨励金も支給いたします。

ご応募いただきますと、運営委員会が合議のうえ諾否を決め、結果を応募者個人に直接お知らせいたします。

ご応募にあたっては、以下の必要書類を日本ファイナンス学会事務局までお送りください。研究観望会の円滑な運営のため、提出はすべて PDF ファイルでおこなって頂くのが望ましいですが、ハードコピーで提出される場合は、お手数ですが必要書類を各4部ご用意のうえ郵送してください。

- (1) 報告論文のテーマと章建て計画
- (2) 各章各節の詳細な要旨
- (3) 報告分野に関する参考文献表
- (4) 報告者の略歴とこれまでの研究成果
- (5) 報告分野と関連した報告者の論文等著作物がある場合はそのコピー

なお、完成論文がある場合は、(1)~(3)に代替できます。

#### 応募先/問合せ先：

日本ファイナンス学会 研究観望会

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

一般社団法人 金融財政事情研究会 内

Tel: 03(3354)2377 Fax: 03(3359)7947

E-mail: honbu@nfa-net.jp